

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	スポーツ振興課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市健康運動センター
所在地	佐賀市高木瀬町大字長瀬2553番地
施設概要	1. 敷地面積 59,971.45㎡ 2. 建物面積 4,769.23㎡ 3. 建物構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造1階建(一部地階) 4. 竣工 平成16年5月10日 5. 施設内容 プール(メインプール25m×7コース、可動床・流水プール、こども用プール、ジャグジー) トレーニングルーム、スタジオ、多目的室、更衣室・浴室 多目的グラウンド、サッカー・ラグビー場(人工芝、天然芝)、ウォーキングコース 6. 開館時間 平日9時～21時30分、土日祝9時～21時(定休日:月曜日、年末年始) 7. その他 隣接する環境センターのごみ焼却熱を利用する余熱利用施設

2 指定管理者

指定管理者	団体名	サガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事グループ	指定期間	開始日	平成26年4月1日
	所在地	福岡市中央区天神3-11-20		終了日	平成31年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	1. 施設全体のマネジメント業務 2. 使用の許可及び使用料の取り扱い業務 3. 施設の総務・経理業務 4. 健康づくりに向けた運動指導・相談業務 5. イベント、自主事業の開催を行う等の利用促進業務 6. 業務に関する情報の管理業務 7. プール等の監視業務 8. 市が行う健康づくり推進業務 9. 事業報告書、作業マニュアル等の作成業務 等
②施設の維持管理業務	1. 日常清掃業務 2. グラウンドの維持管理業務 3. 施設内の植栽等の日常管理と散水業務 4. 定期清掃業務 5. 敷地内の緑地及び樹木の剪定、防除等の管理業務 6. 機器設備等の日常点検及び運転操作業務 7. 機械設備等の保守業務 8. プール・入浴施設の衛生管理業務 9. サッカー・ラグビー場の芝生維持管理業務 等
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	トレーニングルームは年間を通して利用が多く混雑が日常化しているため、プール利用人数増加をねらった自主事業を新たに企画実施した。プールにおける個別支援減量教室や、泳法解説を初心者向けに講座形式で行うセミナー、プール利用回数宣言などを実施し、プールでの運動習慣化につなげていった。これらの取り組みもあってプールの年間1日利用人数は過去最高の443人まで伸ばすことができた。一方、トレーニングルームでは利用の多さを理由に新規利用者への個別支援が十分に行き渡らない一面もあったことから、新規利用者を対象に、運動初期段階の全身持久力の測定を行い、その結果を体力年齢に置き換えることで運動への動機づけ支援を図った。全身持久力測定は新規利用者・継続利用者を合わせると延べ958人に実施した。 集客のために日常的に実施している自由参加レッスンは、年間延べ参加人数はスタジオ14,411人、プール17,447人と過去最高の参加人数となり集客につながった。

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 延べ利用者数	人	183,157	187,413	193,423		
② 1日平均利用者数	人	589	607	624		
③ しょうがい者の1日平均利用者数	人	69	72	74		
④ 高齢者の1日平均利用者数	人	193	208	223		
⑤						

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
CS(市民満足度)アンケートを実施 実施期間 平成28年9月13日(火)～18日(日)6日間 対象人数 561人 実施方法 施設に関わる16項目の記載について、「満足度」を4段階方式で評価。具体的な感想や意見は自由記述方式 評価基準 「1:極めて不満、2:不満、3:満足、4:大いに満足」	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
総合的な満足度は4段階で3.25	利用人数が増え続ける中で、例年同様、下位項目は「備え付けの器具・備品の数・種類」であり、年々満足度が下がり続けている。トレーニングルームは機器の順番待ちが日常化。特にトレッドミルの順番待ちは利用できない事もあり利用者に迷惑をかけている。年度末に市からトレッドミルと自転車エルゴメータを1台ずつ追加して頂き混雑は多少解消できたがまだ不満が残る状況。利用人数が少ない時間帯を掲示や声掛けで周知させ人数の分散を図っている。 13年を経過し老朽化が激しくなり付帯施設の機能や環境面で劣化の印象が強まり、「付帯施設の快適さ」で満足度が低下した。日常清掃や定期メンテナンスで環境美化に配慮しながら取り組んでいる。
満足度の上位項目 1.「利用手続きの容易さ3.24」、2.「受付の説明の分かりやすさ3.22」、2.「施設の場所のわかりやすさ3.22」、3.「利用料金3.19」	
満足度の下位項目 1.「備え付けの器具・備品の数2.90」、2.「備え付けの器具・備品の種類2.98」、3.「付帯施設(更衣室・脱衣室・浴室など)の快適さ3.04」	

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算
指定管理料	156,597	156,597	166,110		
うち修繕費					
うち備品費					
うち光熱水費					
摘要(補足説明等)					

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度決算
使用料					
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
目的外使用料	375	394	409		
合計	375	394	409		
摘要(補足説明等)					

7 指定管理者の自己評価

利用者数は平成20年度から毎年過去最高の記録を更新し続けており、平成28年度においても延べ利用者数は前年から6,010人増え、1日平均利用者数では624人に達した。集客のための自主事業等の展開や利用者個人々人に対する個別の運動支援が奏功したことで実績を伸ばすことができたと考えている。利用者数の増加に伴い利用料収入も過去最高の売上となった。そのことで収支バランスを考慮し、施設の経年劣化に伴い躯体部分の老朽化はもちろん機器・備品の故障等が目立つようになってきたため、施設の保全と利用に支障をきたさないように修理当番に力を入れ、中規模程度の修繕も数回行い、未然の対応に努めた。
運動効果に関するアンケートで「通院費や薬価代の減少」を確認したところ、649人中250人(約4割)の方が減少したと回答したことから、施設利用が医療費抑制にもつながっていることが示唆され、施設の実存意義が今後期待できる結果となった。

8 市による指定管理者の評価

利用実績は、屋内・屋外施設ともに、前年度を上回る非常に高い水準となっている。利用促進に繋がる取り組みや施設PR、利用者にとって快適な環境を継続して提供するなど、サービス意識が高かったことが結果に繋がっており、利用者の満足度も高い。
健康運動館の施設設備については、日々の点検及び必要な修繕を行っており、適切に対応している。また、プールの老朽化が進む一方で、利用者の視点に立ち、環境美化への配慮や、プール用具を充実させるなど、利便性を損なわないよう努めている。また、サッカーラグビー場についても、メンテナンスを徹底して行うことで、高いグラウンドレベルを保持しており、利用者から好評を得ている。
今後も市民スポーツや健康づくりの拠点として、引き続き、適切な管理運営を行っていただきたい。